

今日のトピック **メキシコ中銀は0.75%の利上げ継続、政策金利は10%に米FRBに追随、高止まりするインフレを警戒**

ポイント1 政策金利は10%に上昇

- メキシコ銀行（中央銀行、中銀）は11月10日に金融政策決定会合を開き、政策金利を9.25%から10%に引き上げました。
- 中銀による利上げは12会合連続、0.75%の利上げは6月以降4会合連続となります。高水準が続くインフレへの警戒に加え、経済的なつながりの強い米国で利上げを続ける米連邦準備制度理事会（FRB）の動きに追随した格好です。

ポイント2 経済は堅調持続も、ジリ高続くコアインフレには注意

- 好調な農業生産や個人消費を背景に、メキシコ経済は順調に拡大しています。今年7-9月期の実質GDPの成長率は前年同期比で4%を超え、市場予想を上回る伸びとなっています。
- 一方で、インフレは高止まりが続いています。中でも、変動の大きい食品やエネルギーを除いたコアインフレはじり高傾向が続いています。10月の同指数は前年同期比で+8.42%の伸びを記録し、これまでインフレをけん引してきた同総合指数の+8.41%をわずかながら上回りました。

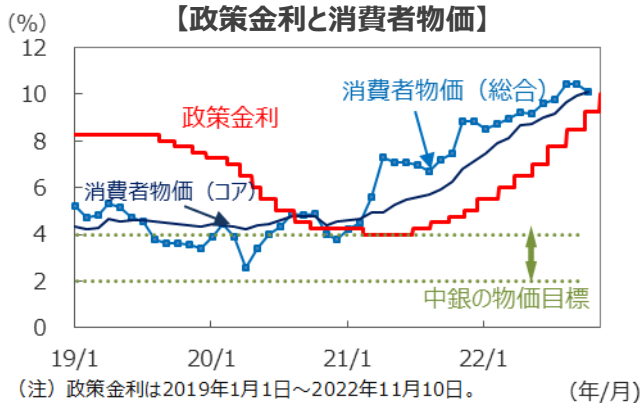
今後の展開 追随利上げ継続でペソは堅調維持

- 弊社では、堅調な景気や高止まりが続くインフレ動向を踏まえ、中銀は12月の次回会合でもFRBと同幅の追加利上げを実施するものと予想しています。このため年末の政策金利の水準は、次回12月の米連邦公開市場委員会（FOMC）の結果次第となり、10.5%、ないしは10.75%まで引き上げられるものと予想しています。良好な経済ファンダメンタルズや中銀の積極的な利上げ姿勢を映し、通貨ペソは1米ドル＝20ペソを中心とした堅調推移が当面続くものと予想しています。

ここもチェック! 2022年10月 3日 **メキシコ中銀は3会合連続で0.75%の利上げ**
2022年 8月12日 **メキシコ中銀が連続で0.75%の利上げ**

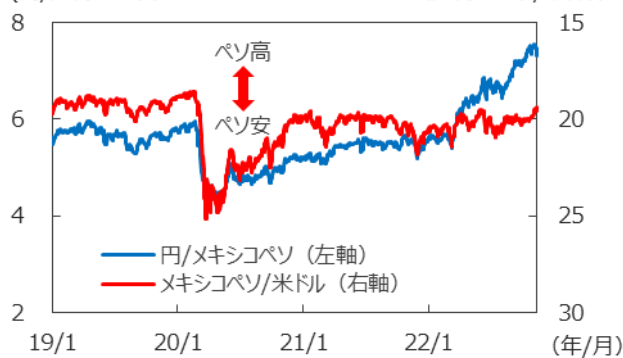
■当資料は、情報提供を目的として、三井住友DSアセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。

【政策金利と消費者物価】



(出所) FactSet、メキシコ銀行のデータを基に三井住友DSアセットマネジメント作成

【メキシコペソ】 (円/メキシコペソ) (メキシコペソ/米ドル)



(出所) FactSetのデータを基に三井住友DSアセットマネジメント作成